

2年生授業シラバス

教育課程表	18
(平成29年度入学生)	
共通教科に関する科目	19
専門教科に関する科目	27
(情報)	

情報科 2年（平成29年度入学生）

2 年	第3セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	第4セメスター	現代文B	世界史A	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション 英語Ⅱ	家庭基礎	アルゴリズムとプログラム	情報デザイン	情報システム 実習	情報システム 実習	情報システム 実習	情報システム 実習	HR															

科 目	現代文B		教 科	単位数	学 科	学年
			国語	2	情報	2
教 科 書	新編現代文B改訂版（大修館書店）					
副 教 材	改訂版必携国語総合セミナー（浜島書店） 新訂国語図説改訂版（京都書房） 新漢字練習ノート（浜島書店）					
科目の特色 と 学習の目標	近代(明治)以降の文章を読んで、次のことを目指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・読む力や考える力を高めます。 ・感受性を豊かにします。 ・表現する力を向上させます。 ・読書に親しむ素地を身に付けます。 					
年 間 計 画						
前 期	随想「『迷う』力のすばらしさ」 小説「ざしきわらし」「サイン」 評論「情報の力関係」 詩歌「六月」他 社会生活と文章	後 期	随想「ももこのいきもの図鑑」 「空飛ぶ魔法のほうき」 どうにかなる人生 評論「ゴリラの思いやり」 小説「山月記」			
学習内容 (授業概要)	「随想」 筆者の個性的なものの見方を読み取ります。 筆者の生き方・考え方を理解します。 「小説」 どんな人物や世界が描かれているかを読み取り 文章表現のおもしろさを味わいます。 人生についての考えを深めます。 「評論」 筆者の言いたいことを読み取ります。 相手に伝えるために、どう書くべきか考えます。 「詩歌」 作者の思いを読み取り表現を味わいます。					
評価の観点 評価の方法 右記を総合的 に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み方（出席状況・授業態度等） ・提出物（授業ノート、課題プリント、長期休暇の課題など） ・定期テスト、課題テスト、授業中の小テストの結果 					

科 目	世界史A	教 科	単位数	学 科	学年
		地理歴史	2	情報	2
教 科 書	世界の歴史 改訂版（山川出版社） 標準高等地図－地図でよむ現代社会－（帝国書院）				
副 教 材	アカデミア世界史（浜島書店） 整理と演習 完成ワーク社会（増進堂）				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史に関する基礎的内容を理解し、地理的条件や日本の歴史と関連付けさせ理解することを目指します。 諸資料などを用い、歴史的事項に関して自分で調べ、整理し、まとめて発表できる能力を身に付けていきます。 				
年 間 計 画					
前 期	<ul style="list-style-type: none"> 文明の成立と発展 アジア諸国の繁栄 	後 期	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ近代の確立 帝国主義国家の様子 沖縄平和学習（大戦と日本） 		
	<ul style="list-style-type: none"> 大航海以前のアジア、ヨーロッパ世界 		<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の様子と諸問題 		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事項に関して、興味関心が持てるような視聴覚教材を利用して諸課題の原因を追求するような集団討論等、問題解決型の授業を進めます。 沖縄への修学旅行前後には、世界史との関連で太平洋戦争が沖縄に与えた影響について学習します。 情報科では、各世紀における主要な歴史的事実や世界情勢を学び、特に第二次大戦後の国際社会や科学文化の発展に着目して、理解を深めます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況（出席状況、授業態度、挙手発言） 提出物（プリント、問題集、ノートなど） 定期考査や問題集の確認テストの得点結果 				

科 目	数学Ⅱ	教 科	単位数	学 科	学年
		数学	4	情報	2
教科書	数学Ⅱ改訂版（啓林館）				
副教材	エスコート改訂版数学Ⅱ＋B（啓林館）				
科目の特色 と 学習の目標	式と証明・高次方程式、図形と方程式、関数及び微分積分の考えについて理解し、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する態度を養います。				
年 間 計 画					
前 期	第1章「式と証明・高次方程式」 第1節 整式の乗法・除法と 因数分解 第2節 式と証明 第3節 高次方程式 第2章「図形と方程式」 第1節 点と直線 第2節 円と直線 第3節 軌跡と領域	後 期	第3章「三角関数」 第1節 一般角の三角関数 第2節 三角関数の加法定理 第4章「指数関数と対数関数」 第1節 指数と指数関数 第2節 対数と対数関数 第5章「微分と積分」 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分		
	学習内容 (授業概要)		<ul style="list-style-type: none"> ・「式と証明・高次方程式」では、数の範囲を複素数まで拡張して方程式を解くことができるようにします。 ・「図形と方程式」では、座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質を考察します。 ・「三角関数」「指数関数と対数関数」について学び、関数についての理解を深めます。 ・「微分と積分」では、微分や積分を用いて、関数の値の変化を調べることや面積を求めることを学びます。 		
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に 評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況（出席日数、授業態度） ・提出物（テスト直しノート、教科担任による課題、春・夏・冬休みの課題） ・定期考査、春・夏・冬休みの課題テスト 				

科 目	生物基礎		教 科	単位数	学 科	学年
			理科	2	情報	2
教 科 書	新編 生物基礎 (啓林館)					
副 教 材	サンダイヤル ワーク生物基礎 (啓林館) 生物基礎実験ノート (ヤツウメ)					
科目の特色 と 学習の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 観察や実験等を等して、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解して、科学的な見方や考え方を養います。					
年 間 計 画						
前 期	第1部 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・細胞および生物の構造 ・生命活動での物質の代謝		後 期	第3部 生物の体内環境の維持 ・恒常性の維持 ・ホルモン・神経による調節 ・免疫		
	第2部 遺伝子とその働き ・DNAの特徴 ・DNAの複製 ・タンパク質の合成			第4部 生物の多様性と生態系 ・生態系 ・物質・エネルギー循環 ・生態系のバランス		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性の視点から、細胞の構造と働きを学び、エネルギーと物質の代謝について学習します。 [実験] 顕微鏡観察、発酵、酵素の働きなど ・遺伝子による生命の連続性とDNAについて学びます。 [実験] DNA模型の製作、唾液腺染色体の観察など ・体液、ホルモン、神経系による恒常性の維持や、免疫について学びます。[実験] 血球の観察など ・生物の多様性と、気候や生物の移り変わり、生態系の遷移について学びます。 [実験] 世界のバイオームなど 					
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいるか。(出席状況・意欲・態度など) ・仲間と協力して実験・観察・実習に取り組み、記録を取ることができたか。 ・提出物をきちんと出したか。(ノート、実験書、プリント、課題など) ・定期考査(4回)、課題テスト、授業中の小テスト 					

科 目	体 育	教 科	単位数	学 科	学 年
		保健体育	2	情報	2
教 科 書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副 教 材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 ・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。 				
年 間 計 画					
前 期	体育の授業について 体づくり運動 集団行動 体育理論	後 期	バスケット、陸上（男子） テニス、陸上（女子） サッカー、陸上（女子） 体育理論		
	ソフトボール（男子） バドミントン（女子） ダンス（女子） 体育理論		サッカー、ダンス（男子） ダンス、サッカー、（女子） テニス、バドミントン（女子） 体育理論		
学習内容 （授業概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・体育を学習する意味を理解し学習意欲を高めます。 ・集団の約束や、決まりを身に付けます。 ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握します。 ・試合等を通して種目の楽しさを味わいながら課題を設定し、その解決に向けて練習を工夫します。 ・チームに応じた作戦を立て試合ができるようにします。 ・ダンスの特性を理解しイメージやテーマを全身で表現し、リズムに乗って踊る楽しさを味わいます。 ・体育を学ぶことで運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を築いていることを理解します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組んでいるか。（運動技能、参加意欲、授業態度、出席状況等） 				

科 目	保 健		教 科	単位数	学 科	学 年
			保健体育	1	情報	2
教 科 書	現代高等保健体育（大修館書店）					
副 教 材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）					
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人及び社会生活における健康安全について理解を深めます。 ・生涯を通して自らの「身体的・精神的健康管理」を考え、改善していくための資質や能力を育成します。 					
年 間 計 画						
前 期	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶		後 期	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き		
	加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度・医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策			食品と環境の保健と私たち働くこと・労働災害と健康 健康的な職業生活		
学習内容 (授業概要)		<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解します。 ・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の心身に及ぼす影響を理解します。 ・高齢者の健康課題や総合的対策について理解します。 ・医療保険の仕組みを理解します。 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因、健康への影響を理解します。 ・環境汚染防止について理解します。 ・食品の安全と私たちの役割について理解します。 ・働くことと健康の相互影響について理解します。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します		<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組んでいるか。 (参加意欲、授業態度、発表、出席状況等) ・提出物をきちんと出したか。 (授業ノート、プリント等) ・定期考査の成果（前期期末、学年末） 				

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ		教科	単位数	学科	学年
			外国語	2	情報	2
教科書	VISTA English Communication II (三省堂)					
副教材	プレップイングリッシュ (旺文社)					
科目の特色と学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション英語Ⅰの学習によって身に付けた基礎基本を元に、より高度な英語を習得することを目標にします。 ・身のまわりの話題から、地球規模の環境問題に至るまでの様々な題材を取り上げ、読む、書く、話す、聞くといった技能をバランスよく高めます。 					
年 間 計 画						
前 期	LESSON 1 Birthdays, Here and There		後 期	LESSON 3 The Sagrada Familia		
	LESSON 2 The Emerald Isle			LESSON 4 Nobel Prize Episodes		
				LESSON 5 Flowers in the Tomb		
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ、インターネット、先進産業等に関連した英語表現を授業に盛り込み、現今の情報社会に積極的にアクセスしていく姿勢で各課の題材を学習します。 ・各課の冒頭に「達成目標」を明示し、言語の働きを詳細に学習することで、実際における言語の使用場面に役立てるようにします。 ・ノートをしっかりと作ることで達成感を得られるようにします。 ・類例なども可能な限り提示することで、基礎基本を応用する能力を養います。 					
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 (出席状況、授業に対する意欲、態度等) ・提出物 (授業ノート、課題プリント、長期休業における課題等) ・定期考査、授業時の小テスト 					

科 目	家庭基礎	教 科	単位数	学 科	学年
		家庭	2	情報	2
教科書	未来をつくる 新高校家庭基礎（大修館書店）				
副教材	スキルアップ家庭科 家庭科資料と食品成分表（大修館書店）				
科目の特色 と 学習の目標	家庭基礎の学習内容を通して ・自分の生活を見直す力を身に付けます。 ・家族や人々とかかわる力を身に付けます。 ・資源や環境を大切にす力を身に付けます。 ・意思決定をする力を身に付けます。				
年 間 計 画					
前 期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 人の一生と青年期の課題をみつめよう 家族・家庭と社会について考えよう	後 期	高齢者の生活と福祉について考えよう 共生社会をつくろう 経済生活を設計しよう 健康で快適な衣生活をつくろう 安全で快適な住生活をつくろう		
	子どもと子育てについて知ろう 生涯の健康を見通した食生活をつくろう ホームプロジェクトの実施		ホームプロジェクト発表 持続可能な社会をめざして行動しよう 生活をデザインしよう		
学習内容 (授業概要)	一年間の学習を通して、「生きること」「生活することを考えます。 ・「人とかかわって生きる」……自分自身の人生を考えます。また、男女が協力してつくる家庭生活や家庭、地域社会で子どもや高齢者とふれあったり、支え合ったりすることを学びます。 ・「生活をつくる」……衣食住に関する科学的知識と技術を身に付けます。 ・「消費者として自立する」……消費生活と自分とのかかわりや環境問題について学び、自分らしい生き方を考えます。				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	・授業に主体的に取り組んでいるか。（出席の状況、授業への参加意欲、態度、発表等） ・提出物をきちんと出したか。（授業プリントや長期休業中の課題や各種の課題） ・定期考査など				

科 目	課題研究	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	2	情報	3
教 科 書	なし				
副 教 材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	「情報通信技術」に関する職業資格の取得を目指し、専門的な知識や技術を深め、自発的で創造的な学習態度を育てる科目です。自ら学習目標を設定して取り組みます。				
学 習 計 画 (半期単位認定)					
1 目標設定 2 計画作成 3 テーマ学習 取り組める検定・資格の例 基本情報処理技術者試験、CG、マルチメディア検定 など 4 インターンシップ 近隣の企業で2日間の現場研修を実施します。					
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人または少人数のグループに分かれ、自ら希望する進路に必要な職業資格の取得や、産業現場等における実習（インターンシップ）を行います。 ・普段の授業とは大きく違い、自分から学習内容を選択し自分で解決していく科目になっています。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に 評価します	<p>【関心・意欲・態度】自主的に問題解決を行う姿勢や態度、自己の進路意識の高さ（授業態度、提出物等）</p> <p>【技能】自主学習の記録、ノート、学習プリント等で評価</p> <p>【思考・判断・表現】検定対策のための計画的な学習計画、計画通り実行するための取り組み方法（ノート、学習プリント等）</p> <p>【知識・理解】自ら選択した課題に対する専門的な知識の高まり（発問・発表、計画表等）</p>				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	アルゴリズムと プログラム	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	2	情報	3
教科書	アルゴリズムとプログラム（実教出版）				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	プログラムの作成に必要な考え方や、代表的なアルゴリズムとデータ構造に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身に付けます。				
学 習 計 画 （半期単位認定）					
1章 アルゴリズムの基礎 2章 プログラムの基礎 3章 プログラミング 4章 数値計算の基礎 5章 データ構造 6章 探索 7章 整列					
学習内容 (授業概要)	アルゴリズムやプログラムの基礎を学習し、簡単なプログラムを作成できるようにします。サブルーチンや関数、グローバル変数やローカル変数などを正しく使えるようにします。				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に 評価します	【関心・意欲・態度】 アルゴリズムによる課題解決への興味、積極的に取り組む姿勢（授業態度） 【技能】 アルゴリズムによる表現に基づいたプログラミング（定期考査、実習課題） 【思考・判断・表現】 探索や整列など、課題に応じた適切なアルゴリズムの選択（定期考査、ノート） 【知識・理解】 基本的なアルゴリズムとプログラミングの知識（定期考査、実習課題）				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	情報デザイン	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	2	情報	3
教科書	情報デザイン（実教出版）				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	私たちの身近には様々なデザインが存在しています。デザインとは何なのか。アーティストの作品との違いはなにか。より良いデザインはどうあるべきなのか、コンピュータによるデザインで学習します。				
学 習 計 画 （半期単位認定）					
第1章 デザイン・情報・造形の基礎 第1節 デザインって何だろう 第2節 情報って何だろう 第2章 デザインと表現 第1節 デザインの造形要素 第2節 造形要素の構成 第3節 観察から表現へ 第3章 デザインの実際 第1節 身近な生活デザイン 第2節 多くの人に知らせるデザイン 第3節 情報の理解を助けるデザイン 総合演習					
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や街の店などにある身近なデザインを例に挙げながら、コンピュータによるデザインについて、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。 ・デザインの良い点や悪い点などを比較したり、上質なデザインを創造したりして、応用する能力と態度を身に付けます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	【関心・意欲・態度】授業に積極的に参加し取り組もうとする姿勢や態度（行動観察、課題制作） 【技能】造形・美術的判断力、表現力（作品） 【思考・判断・表現】デザインの創出において必要な問題意識、想像力、企画・計画力（作品、課題制作） 【知識・理解】デザインとアートの違い、造形要素の知識、デザインの一般的な知識（定期考査）				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	情報と問題解決	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	2	情報	4
教科書	情報と問題解決（実教出版）				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と解決に関する基礎的な知識や技術について学びます。 ・情報や情報手段を活用して、適切に問題の発見や解決を行うことができる能力と態度を身に付けます。 				
学 習 計 画 （半期単位認定）					
第1章	問題解決の概要				
第2章	問題の発見と解決				
第3章	問題解決のための最適化技法				
第4章	コンピュータシミュレーションによる問題解決				
第5章	問題解決の過程と結果の評価				
第6章	問題解決の事例				
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の意味や、シミュレーションの手法などについて、統計学などの基礎知識をもとに、学習を行います。 ・銀行やコンビニの待ち時間など、実生活の中の多様な現象に対してモデル化を行い、問題を解決するための方法や事例を学びます。 ・モデル化やシミュレーションを、コンピュータ（Excel など）を使った数値計算、グラフ化を用いて、表現する方法を学びます。 				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に評価します	<p>【関心・意欲・態度】学習意欲や、課題を解決しようとする態度（行動観察、ノート）</p> <p>【技能】的確な表現方法や技能（課題、定期考査）</p> <p>【思考・判断・表現】問題を把握し、課題へ取り組む態度や考え方（行動観察、定期考査）</p> <p>【知識・理解】モデル化の過程におけるアルゴリズムや、応用的な内容（課題、定期考査、小テスト）</p>				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	情報システム実習	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	1	情報	4
教科書	なし				
副教材	なし				
科目の特色と学習の目標	1～3年全てに位置づけられている情報システム分野について、実際の作業を通じて総合的に習得するための科目です。プログラムやデータベースなどの仕組みについて実際に操作しながら学びます。				
学 習 計 画 (半期単位認定)					
<p>実習室の種類に応じて「情報コンテンツ実習」と同時に展開します。</p> <p>1 プログラミング (システム実習室)</p> <p>※1クラスを2～4グループに分け、半年間で全ての実習を行うパートローテーション方式で実施します。</p>					
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報科に学ぶ皆さんが習得すべき技術を実際の作業で身に付けます。 ・ 各実習テーマに応じたコンピュータや実習装置を活用しながら少人数グループで実施し、結果を報告書(レポート)としてまとめ、提出します。 ・ パート毎に専門性をもった教師がきめ細かい指導を行うことで、より専門性が高まります。 				
<p>評価の観点 評価の方法</p> <p>右記を総合的に評価します</p>	<p>【関心・意欲・態度】 実習服の着こなしを含めた積極的な実習の姿勢や態度</p> <p>【技能】 実習テーマ毎に与えられた課題の達成度 (レポート、実習の結果)</p> <p>【思考・判断・表現】 課題解決に必要な思考力や判断力 (活動の様子、レポート)</p> <p>【知識・理解】 レポート内容の理解度 (口頭試問)</p>				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	表現メディアの 編集と表現	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	2	情報	4
教科書	表現メディアの編集と表現（実教出版）				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を学習し、実際に活用できる能力と態度を身に付けます。				
学 習 計 画 （半期単位認定）					
1章 情報メディアとコンテンツ 2章 視覚表現の要素 3章 文字と画像 4章 映像メディア 5章 Webコンテンツによる情報表現					
学習内容 (授業概要)	表現メディアによる表現の基本的な知識や技術、特徴を学び、作品を構成し、企画することで、情報をかたちにして、そこに生まれるコミュニケーションを考えます。				
評価の観点 評価の方法 右記を総合的に 評価します	【関心・意欲・態度】 授業に積極的に参加する姿勢、態度（行動観察、課題制作） 【技能】 適切な表現技術を用いた作品構成や企画（作品、課題制作） 【思考・判断・表現】 各メディアの特性をいかしたデザインの要素の選択とレイアウト（作品、課題制作） 【知識・理解】 メディアでの表現の特徴の理解（定期考査、作品）				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。

科 目	情報コンテンツ実習	教 科	単位数	学 科	セメスター
		情報	1	情報	4
教科書	なし				
副教材	なし				
科目の特色 と 学習の目標	1～3年全てに位置づけられている情報コンテンツ分野について、実際の作業を通じて総合的に習得するための科目です。動画像処理や動画の編集などを実際に操作しながら学びます。				
学 習 計 画 (半期単位認定)					
<p>実習室の種類に応じて「情報システム実習」と同時に展開します。</p> <p>1 3DCG (制御実習室)</p> <p>2 DTMとアニメーション (マルチメディア実習室)</p> <p>※1クラスを2～4グループに分け、半年間で全ての実習を行うパートローテーション方式で実施します。</p>					
学習内容 (授業概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報科に学ぶ皆さんが習得すべき技術を実際の作業で身に付けます。 ・各実習テーマに応じたコンピュータや実習装置を活用しながら少人数グループで実施し、結果を報告書(レポート)としてまとめ、提出します。 ・パート毎に専門性をもった教師がきめ細かい指導を行うことで、より専門性が高まります。 				
<p>評価の観点 評価の方法</p> <p>右記を総合的に 評価します</p>	<p>【関心・意欲・態度】実習服の着こなしを含めた積極的な実習の姿勢や態度</p> <p>【技能】実習テーマ毎に与えられた課題の達成度(レポート、実習の結果)</p> <p>【思考・判断・表現】課題解決に必要な思考力や判断力(活動の様子、レポート)</p> <p>【知識・理解】レポート内容の理解度(口頭試問)</p>				

※セメスター1～6は、1年前期～3年後期を半期ごとに単位認定します。